

# へっぴん よせ ひな祭り・別嬪寄席



3月2日(日)午後2時～徳成寺で、桃の節句にちなんで、ひな祭り・別嬪寄席が行われました。着物姿の女性など、約30名がご参加下さいました。琴の生演奏と、抹茶のお接待、そして落語で女性のお祝いをしました。徳成寺ならではの企画に、当日は読売新聞の記者の方も取材に来られました。

お琴の演奏を下されたのは、青木香璃先生です。八橋検校の曲と「さくら」変奏曲の2曲を演奏して下さいました。合間で、琴の基礎知識などの説明もありました。お琴は空想上の龍に似せて作られているそうです。初めて聞く人にもとても親しみやすかったですね。



讃岐乃音子さんがインフルエンザのため、おかし家まっ茶さんが「堪忍袋」を演じて下さいました。左の写真は本物の抹茶のお接待です。



トリを勤めたのは、社会人落語選手権で好成績を残した実力者・春日家みっちさんです。演目は「子はかすがい」。人情噺に、涙線が緩んだ人も多かったのではと思います。琴線に触れる演奏あり、笑いあり、涙ありの楽しいひとときでした。女性たちのパワフルな活躍に、元気と勇気をもらいました。